

財団設立25周年記念

# 手の匠

— 日本文化をうみだすもの —



# あなたへのメッセージ ‘手…あなたの手’

設立25周年記念(特別企画作品)

## 『手の匠—日本文化をうみだすもの—』

【遙か遠い昔から今日まで脈々と受け継がれ、私達日本人の魂と技を染み込ませて築き上げてきた日本文化は、何と美しさに満ちていることでしょう。その日本文化の美しさを築く上で、手はとても大事な役割を果たしてきたはずですが、心を優しく伝えていく私達の手は、きっと明日に向けてさらに美しい世界を築いていくことでしょう。】

### ◇ [手] への讃歌

この映画は伝統工芸(漆芸・陶芸)、伝統芸能(人形浄瑠璃)、茶、仏像に焦点を当て、[手]が如何に素晴らしい美をうみだし、如何に優れた美の世界を表現してきたかを捉え、日本文化の中に占める[手]の意義と魅力を謳いあげていきます。

### ◆ 手は日本文化の型をうむ

漆芸家・田口義明氏の蒔絵の精緻な技、陶芸家・川瀬忍氏の繊細な手の技を紹介し、匠達の手が如何に美しい文様やフォルムを作り上げていくかを語っていきます。

### ◆ 手は生命さえもうみだしてしまう

「艶容女舞衣」「妹背山婦女庭訓」を通して、人形遣いの手が人形に生命を吹き込み、情念の世界を表現していく様を紹介します。

### ◆ 慈悲の心を象徴する手

遙か遠い昔に造られた千手観音像の手は、人々への救いの心を表現しているようです。三十三間堂の千手観音、飛騨高山の円空仏を紹介し、手に込めた日本人の心の深遠さを語っていきます。



精緻さを求めて…田口氏



裸の人形で手の技を見せる



おもてなしの心を込めて…



繊細さを求めて…川瀬氏



三位一体で人形に命を吹き込む



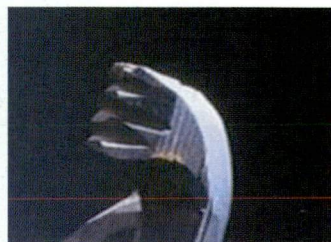
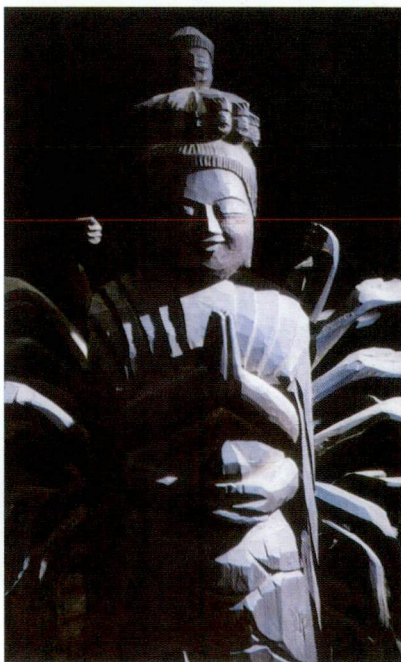
粉筒を巧みに操り精緻な美の世界を生み出す漆芸家の手、そっと土に触れながら繊細なフォルムを生み出してしまう陶芸家の手、更に人形に悲しみを伝え嗚咽する女性の性さえも表現してしまう人形遣いの手……。

僕は今回の映画撮影の中で、日本人の様々な手に出会った。工芸の匠達の手は、日本人の形や文様を見事に生み出す様を見せてくれたし、文楽の人形遣いは、人間の手が生命さえも生み出しまう様を見せてくれた。だが、そうした様々な手を見つめた中で、僕にとって一番感動的であったのは、円空の仏の手だったように思える。冬、雪の降り始める頃、僕は飛騨高山の深い山間にあるひっそりとした寺の境内に真っ黒いテントを張り、外光を遮断して、寒さに震えながら、そっと光を照らし、円空の仏を見た。

円空の仏は、切れ長の目といい、口元といい、さながら尼僧を思わせるような不思議な微笑みをたたえていた。だが、その柔らかな顔の表情に比べ、手は荒々しく、ダイナミックで力強い表現をい見せているのではないか。

何故なのだろう。何故、顔の優しい表情に比べ、手はあんなにも荒々しい表現になっているのだろうか……。円空はきっと、手にストイックなまでの慈しみの心を持たせるために、逆にあんなにも荒々しい手を表現してのではないか……。

様々な手を見た果ての僕の円空の手へのオマージュである。





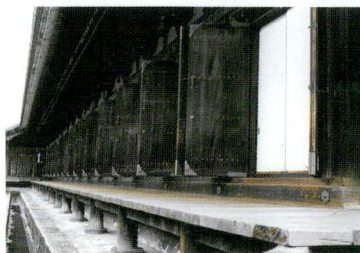
三溪園の「春早廬」



満開の「わに塚」の桜



打合せ中の黒崎監督（左）と後藤先生



三十三間堂の外観

作品名：財団設立25周年記念

## 手の匠

— 日本文化をうみだすもの —

(35mm/カラー/30分)

企 画：財団法人 ポーラ伝統文化振興財団

製 作：株式会社 日経映像

監 修：中西 進（京都市立芸術大学学長）

文楽監修：後藤 静夫（京都市立芸術大学教授）

### <製作スタッフ>

製 作：佐野 文男

黒崎 洋一

監督・脚本：黒崎 洋一

撮 影：中井 正義

照 明：長谷川明夫

柴田 浩一

V E：千葉 清美

青木 伸二

助監督：岩本 智也

撮影助手：大畑 正人

高橋 大佑

音楽効果：山崎 茂之

ミキサ－：門倉 徹

録 音：東京テレビセンター

現 像：(株)IMAGICA

語 り：佐藤 慶

### <撮影協力>

田口 義明 川瀬 忍 三溪園 裏千家淡交会横浜支部

三十三間堂 清峯寺 東京国立博物館 山種美術館

## 財団法人 ポーラ伝統文化振興財団

〒141-0031 東京都品川区西五反田2-2-10 ポーラ第2五反田ビル2階  
TEL.03-3494-7653 FAX.03-3494-7597